

松山に新キャンパス構想

人間環境大 22年春 総合心理学部



人間環境大の松山道後キャンパス設置構想がある旧四国郵政研修センター跡地＝10日午前、松山市道後樋又

学校法人河原学園（松山市）が運営する人間環境大（愛知県岡崎市）は11日までに、松山市道後樋又に新キャンパスを構え、総合心理学部総合心理学科（仮称）を2022年4月に新設する構想をホームページ（HP）などで公表した。公認

心理師などの養成が目的で、21年春に国に正式申請する予定。同大によると、心理学への関心が高まるのに対し四国では学ぶ環境があまりないことなどから構想。定員は80人で、新キャンパス予定地は日本郵政の旧四国郵

政研修センター跡地。8月に所有者と長期賃貸契約を結んでいる。今後建物を改修して名称は「松山道後キャンパス」とする見込み。同学部では、公認心理師や臨床心理士の資格取得を目指すことを想定。両資格の受験資格を得るには大学4年間に加えて大学院での履修なども必要のため、同大は1期生卒業に併せ、キャンパス内に大学院を設置する予定という。芦田宏直副学長は「心理学に関し4年間しっかり学ぶことで、こころの問題に対応できる人材を四国でも育成していきたい」と話している。人間環境大は、岡崎市の岡崎キャンパスのほか、愛知県大府市の大府キャンパス、17年に設置した松山看護学部の松山キャンパス（松山市花園町）がある。

岡崎キャンパスで22年4月に心理学部、環境科学部を新設する構想もある。
(宇和上翼)